



日本共産党 品川区議会議員

Japanese Communist Party

区政報告

2021年11月21日
No. 345

安藤たい作

ニュース

バックナンバー 品川 安藤たい作ニュース 検索



twitter

@andotai

saku



6/3には固定化回避検討会の内容を品川区議会に説明するよう国に求める要望書を議長に提出、近く実現します。

羽田新ルートは中止せよ!

品川議連と都議連で意見交換を行いました



品川区議 安藤たい作 共産	都議(品川区) 白石たみお 共産	品川区議 中塚亮 共産	品川区議 吉田ゆみこ ネット
品川区議 田中さやか ネット	品川区議 くには雄大 品川改革連合	都議(北多摩二) 岩永やす代 ネット	品川区議 西本たか子 無所属
品川区議 のだて稔史 共産	品川区議 鈴木ひろ子 共産	品川区議 石田ちひろ 共産	都議(中野区) 西沢けいた 立憲

品川区議
奥野晋治
共産

下) 参加者一覧。羽田新ルート問題を追うマンションアナリスト・マン点さんのツイッターから引用。

11月11日、品川区議による「羽田問題議員連盟しながわ」と、都議による「羽田新飛行ルート見直しのための都議会議員連盟」とで初めての意見交換会が催され、13名の議員が参加しました。

会議では、それぞれ羽田問題に対する考えや地域の声などを交えた自己紹介後、意見交換し、お互いの議連の目的や活動について理解を深めました。

「東京都にとって新ルートはむしろ『悲願』。もっと進めてほしい」というのが都のスタンスだ(西沢会長)、『地元の理解』の唯一の根拠とされたのは東京都の一言だった(白石事務局長)、との発言で、区議連側は都が推進派であることを再認識。共同で運動を更に発展させていくことを確認しました。

ニュースへのご感想
をお寄せください

FAX 3778-3088
taisakuando19740217@gmail.com

* 当ニュースは、議会活動および区政に関する政策等の広報活動に要する経費等をまかなう「政務活動費」で発行されています

税金四百億・超高層の新庁舎整備基本構想が区長に答申される



11月16日、第5回・品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会が開かれました。私は基本構想の答申に反対を表明しましたが、構想は区長に答申されました。私の反対意見は以下の通りです。

① 建て替えを急ぐべき状況でない

現在の庁舎は、2011年度に約36億円かけ免震工事。2016年度に約4億円で熱源機器の更新、2018年度には約1億5千万円でエレベーター改修。その後も、前面道路整備の関係で役所前の外階段なども大がかりに改修。これらは全て税金。現庁舎は少なくともあと15年もち、まだ予断を許さないコロナ禍の下、400億円かけ急いで建て替える必要はない。今やるべきは、コロナで傷ついた区民生活を支える施策、福祉施策の推進。

② 超高層の庁舎になる問題点

基本構想では、概算事業費の他、建設候補地を定め、その結果15〜20階との超高層庁舎ということが事実上確定される。区民が望むのは、周辺の景観や環境に影響を及ぼし、日常的にも不便で災害時にも問題がある超高層庁舎ではなく低層型庁舎。この問題について策定委員会で十分に議論がつくされていない。

③ 区民参加は完全に形骸化

開くよう求めたパブコメに合わせた説明会は開かれなかった。区報やホームページに掲載、窓口において、「あとは勝手に読んで下さい」との姿勢で、一体どれだけの区民がこの議論に参加できるのか。パブコメでは意見が48名126件にとどまったとはいえ、建て替えへの反対意見、必要性を疑問する意見、他の施策を優先すべきとの少なくない異論が出されたが、区は一言一句変えずに本口、答申案として提出した。区民参加は完全に形骸化している。

今すべきことは、十分な時間をかけ、情報公開と区民参加で検討を継続し深めていくことだ。

3回目のワクチン接種が区の補正予算案に計上されました

25日から始まる第四回定例区議会に、3回目のワクチン接種の補正予算が計上されました。内訳は以下の通りで、全額国からの補助金です。

コールセンター経費	2億8800万円
ワクチン接種経費	4億6800万円
接種券発行等	4880万円
合計	8億480万円



いつから始まるのか、地域のかかりつけでの接種は可能かなど、29日の厚生委員会で審議を行います。

区長への答申の場面には、2つの新聞社が写真撮影で取材に入りました。今回の答申が、JR広町開発の重要な節目と認識されているのだな、とあらためて思わせるような場面でした。

